

2003年8月25日

参考資料：テキサス州オースティン 8月11日（現地時間）発表

パーベイシブ・ソフトウェアがデータ・ジャンクションを買収 データ管理ソリューションの製品ファミリーを拡大

高い収益性を誇るデータ/アプリケーション統合製品が、新たな事業基盤を形成

PCソフトの開発・流通を手掛ける株式会社エージーテック（本社：東京都千代田区 / 代表取締役：安藤由男）は、当社が販売している組み込み用データベースソフト Pervasive.SQL の開発元である米国パーベイシブ・ソフトウェア社（米国：テキサス州、オースティン）が米国データ・ジャンクション社（米国：テキサス州、オースティン）を買収することを発表いたします。

テキサス州オースティン発（2003年8月11日）：

世界各地のアプリケーション開発者の成功をサポートしているデータ管理ソリューションのリーディング・プロバイダ、米国パーベイシブ・ソフトウェア社（Nasdaq：PVSW）は、データ/アプリケーション統合の先駆けである米国データ・ジャンクション社を2,210万ドルおよびパーベイシブ・ソフトウェアの普通株500万株によって買収する最終契約を行ったことを発表しました。パーベイシブ・ソフトウェアの2003年8月8日の終わり値（1株5.91ドル）から判断すると、この取引総額は約5,170万ドルとなります。この契約は、パーベイシブ・ソフトウェアおよびデータ・ジャンクションの取締役会において満場一致で可決され、現在、両社の株主による承認を待っています。この買収は、仕入勘定の調整やその他の取引関連支出前の見積りベースで直ちに計上され、2003年の第4四半期に手続きが完了する見込みです。

データ・ジャンクションは、優れたデータ統合/変換テクノロジーをパーベイシブ・ソフトウェアに対してもたらし、これによってパーベイシブ・ソフトウェアのデータ管理製品、専門技術、顧客ベースはさらに強化されることとなります。データ・ジャンクションの買収は、業界最高の「性能」、「信頼性」、「低いTCO」のコンビネーションを実現するソリューション・ファミリーを提供するというパーベイシブ・ソフトウェアの戦略を大きく前進させ、結果として、データ管理インフラストラクチャ・ソフトウェアに特化した企業を生み出します。

パーベイシブ・ソフトウェアの社長兼CEOであるデビッド・シコラは次のように述べています。「数々の受賞経験を誇るデータ・ジャンクションの製品がパーベイシブ・ソフトウェアの安定した中核事業であるデータ管理ビジネスに組み入れられることにより、高成長の市場部門において、パーベイシブ・ソフトウェアが成長するための基盤が一層強化されることとなります。アプリケーションの枠を超えて企業全体のデータを相互接続する能力は、アプリケーション開発者とエンド・ユーザーが現在最も必要としている能力のひとつです。データ・ジャンクションのテクノロジーは、成長のひとつの機会に限られるものではありません。統合に関するその価値提案は、パーベイシブ・ソフトウェアが世界各地に持つ

何千というアプリケーション開発者の顧客ベースにも大いに役立つことでしょう。」

1984年に設立されたデータ・ジャンクションは、1990年以来継続して収益をあげており、2002年度の売上高970万ドルから2003年度売上高約は1,400万ドルと急速な成長を遂げました。業界において20を超える重要な賞を受賞しているデータ・ジャンクションは、革新的統合テクノロジーにおけるマーケット・リーダーであり、大手コンサルティング企業やソフトウェア・ベンダーを含む2万5,000以上の顧客を持ち、これらの顧客はそのアプリケーションにデータ・ジャンクションのテクノロジーを組み入れています。データ・ジャンクションの顧客には、システム・インテグレータのEDS、独立系ソフトウェア・ベンダーのCardiff Software, Inc.をはじめ、Automatic Data Processing, Inc.、J.P. Morgan Chase & Co.、WebMD Corporationなど幅広いエンド・ユーザーがあります。これらの企業は、それぞれの顧客の分散したデータ・ソースを結び付け、それらのデータの付加価値をますます拡大させる事が可能になります。

データ・ジャンクションの主な製品としては、「Data Junction Integration Studio」があげられます。「Data Junction Integration Studio」は、さまざまなデータ・フォーマットやアプリケーションを対象としたデータ統合プロセスの迅速な構築および検証を行う視覚的設計ツールの総合セットであり、統合マップの作成からアプリケーション間メッセージおよびEDIプロセスの複雑なイベント駆動型のフローの管理まで、統合プロジェクト設計に伴うあらゆる側面の総合的管理を可能とします。1986年、データ・ジャンクションは「Data Junction v1.0」によって、ETL（抽出、変換、ロード）として知られるカテゴリーのバーチャルな作成を行い、データ変換における世界初のハブ・アンド・スポークによるアプローチのひとつを実現しました。現在ではさらに、ビジネス/アプリケーション統合テクノロジーの開発において新たな分野の開拓を行っています。

パーベイシブ・ソフトウェアは、そのデータ管理製品ファミリーを拡大するための体系的アプローチとして、中核となるデータベース・ビジネスの周辺において相互補完的に成長する市場分野の特定および検証に取り組んでいます。これらの市場分野には、データ複製、データ・セキュリティ、ビジネス・インテリジェンス、データ/アプリケーション統合などがあります。社内開発および技術ライセンスや技術買収によって、パーベイシブ・ソフトウェアは間もなく、これらの各分野における製品を市場に投入する予定です。

合併後の見通し

買収完了後、パーベイシブ・ソフトウェアは引き続き、業界最高の「性能」、「信頼性」、「低いTCO」のコンビネーションを実現するデータ管理ソリューションの提供に注力し、150カ国の3万5,000の顧客を持つ企業となります。データ・ジャンクションの社長であるマイケル・ホスキンス氏はパーベイシブ・ソフトウェアの経営陣に加わり、データ/アプリケーション統合ソリューションを中心とする事業ユニットの指揮を担当します。この新たな事業ユニットは、パーベイシブ・ソフトウェアの中核であるPervasive.SQL™データベースの事業ユニットとともに運営を行います。その事業内容には、Pervasive DataExchange™（データ複製テクノロジー）およびPervasive AuditMaster™（トランザクション・インテリジェンスおよびデータ・モニタリング・ソフトウェア）も含まれます。ホスキンス氏はさらに、パーベイシブ・ソフトウェアの取締役会の候補にも指名される予定です。

ホスキンス氏は次のように語っています。「私たちは統合テクノロジーのリーダーとしての位置付けを得ていることを大変誇りに思っています。テクノロジーを補完することのできるより大規模な企業との合併によって、私たちの市場における位置付けはさらに高まり、お客様に対しては新たな価値をご提供し、また、従業員に対してはさらなる業務実績を獲得する機会を提供することができるでしょう。パーベイシブ・ソフトウェアの顧客ベースにとって、当社がご提供するテクノロジーは最適なものです。私たちがパーベイシブ・ソフトウェアの一員となることは、私たちにとってはグローバル・マーケットの

数多くの入口を開くことであり、これによって私たちは、市場の重要なニーズに対応するフル・スイートの製品を皆様にご提供できるようになります。」

合併取引の内容

この取引により、パーベイシブ・ソフトウェアはデータ・ジャンクションを取得し、データ・ジャンクションはパーベイシブ・ソフトウェアの完全所有子会社となります。合併後、完全所有子会社であるデータ・ジャンクションは存続し、データ・ジャンクションの株式資本であるすべての発行済株式は、現金2,210万ドルおよびパーベイシブ・ソフトウェアの普通株500万株によって、パーベイシブ・ソフトウェアにより取得されます。パーベイシブ・ソフトウェアは、この取引においてデータ・ジャンクションの現金残高(2003年6月30日の時点で総額650万ドル)を引き受け、12月の四半期の取引完了後、両社を併せた決算後の現金残高は2,400万ドルを超え、パーベイシブ・ソフトウェアは引き続き大規模な現金資源を維持します。この合併は、非課税の企業再編成となる見通しです。

この買収は、特に、1976年のHart-Scott-Rodino独占禁止法改正案による待機期間の期限切れまたは破棄、パーベイシブ・ソフトウェアとデータ・ジャンクションの株主の承認、データ・ジャンクションの株主に対して発行されるパーベイシブ・ソフトウェアの普通株のナスダック市場上場、またその他の通常の取引完了条件といった条件のもとに行われます。株主による投票は、各社それぞれの秋の株主総会で行われる予定です。

パーベイシブ・ソフトウェアはすでにデータ・ジャンクションの4つの大手株主(データ・ジャンクションの発行済株式の約90%)から買収賛成の投票委任を受けています。

パーベイシブ・ソフトウェアの財務顧問としての業務および公正意見書の提供はFirst Albany Corporationが行い、またデータ・ジャンクションの財務顧問はNeedham & Company, Inc.が行いました。

事業の概要

パーベイシブ・ソフトウェアは、この買収が、取引決算完了後の12カ月間において約1,600万ドルの増収をもたらし、翌年以降のきわめて高い成長に貢献するものと予想しています。

買収に関連する会計上の調整、およびその他の取引関連の支出を除き、パーベイシブ・ソフトウェアは、合併取引完了後の2004年会計年度全般を通じて、取引は直ちに一本化されると見えています。合併によるコスト・シナジーが生まれる一方、パーベイシブ・ソフトウェアの焦点は、相互販売による成長と両社の補完製品によって創出されるであろうビジネスに置かれるようになるでしょう。

シコラは次のように語っています。「当社の戦略は、新たなテクノロジーとビジネスを追求し、ミッション・クリティカルなアプリケーションの開発者およびユーザーのためのデータ管理ソリューションのリーディング・プロバイダとして当社の位置付けをさらに拡大すること、そして、収益性の高い新たな中核事業を拡大していくことです。

データ統合テクノロジーと私たちの中核となるデータベース・ソリューション、そして既存の製品スイートとの強力なコンビネーションとによって、データ管理ソリューション・ファミリーはより一層の拡大を遂げ、市場における真のニーズへの対応が可能となるでしょう。」

【パーベイシブ・ソフトウェアについて】

パーベイシブ・ソフトウェアは、業界最高の「性能」、「信頼性」、「低い TCO」のコンビネーションを実現し、アプリケーション開発者の成功をサポートするデータ管理ソリューションのリーディング・プロバイダです。パーベイシブ・ソフトウェアは、世界各地のほとんどすべての業務アプリケーション分野においてきわめて多くの顧客およびエンド・ユーザーの支持を受けており、その強さは顧客ベースの規模と多様性によって実証されています。1994 年に創設されたパーベイシブ・ソフトウェアは、テキサス州オースティンを拠点としてヨーロッパの各地に事務所を持ち、150 を超える国々で製品の販売を行っています。より詳しい情報は、<http://www.pervasive.com> にアクセスしてください。

【データ・ジャンクションについて】

データ・ジャンクションは、統合テクノロジーにおける市場リーダーであり、大手コンサルティング企業やソフトウェア・ベンダーを含む 2 万 5,000 を超える顧客がそのアプリケーションにデータ・ジャンクションのテクノロジーを組み入れています。テキサス州オースティンを拠点とする株式非公開企業であるデータ・ジャンクションは、これまで急激な成長を達成し、業界における 20 を超える重要な賞の受賞実績を誇ります。米国、欧州連合、中南米の付加価値再販業者および企業に対する直接販売、また、米国内の 100 を超える提携パートナーや世界各地の販売パートナーを通じた製品の販売を行っています。より詳しい情報は、<http://www.datajunction.com> にアクセスするか、または 1-800-580-4411 にお電話ください。

注意事項

この記事には、連邦証券法の意味の範囲内において、「データベース管理ソフトウェア業界の強み」、「データ・ジャンクションの経営陣および従業員と、パーベイシブ・ソフトウェアの経営陣および従業員の統合」、「合併後にもたらされるマーケティング・チャンス」、「買収の完了時期」、「合併後の企業における、市場拡大目標の達成能力、業界におけるリーダーシップの維持能力、一貫した収益性の達成能力」、「合併される側の企業における合併による戦略的メリットおよび経営上のメリット」、「合併により期待される、収益チャンスの拡大、経営上の効率の向上、コスト節減」、「パーベイシブ・ソフトウェアの本社に対するデータ・ジャンクションの経営の移行」、「合併後のパーベイシブ・ソフトウェアにおける経営陣および取締役会の構成」、「合併に関する、米国連邦所得税上の非課税性」に関する記述を含むがそれに限定されない予測的な記述が含まれます。また、これらの記述には、「パーベイシブ・ソフトウェアおよびデータ・ジャンクションの株主による取引の承認」、「監督機関による承認を含む、取引完了条件の充足」、「データ・ジャンクション/パーベイシブ・ソフトウェア間における従業員およびテクノロジーの統合の成功」、「パーベイシブ・ソフトウェアおよびデータ・ジャンクションの製品とソリューションに対する需要の変動」、「提供製品の統合を成功させる能力」、「パーベイシブ・ソフトウェアとデータ・ジャンクションの企業風土の適合性」、「提供製品に関するマーケティングの遅延の可能性」、「競合他社による新製品の導入、またはパーベイシブ・ソフトウェアおよびデータ・ジャンクションの製品市場に対する新たな競合他社の参入」を含むがそれに限定されない、実際の結果と著しく異なる危険性および不明確性が含まれます。パーベイシブ・ソフトウェアおよびデータ・ジャンクションの経営の統合は、的確な時期において、あるいはまったく成功しない可能性があります。また、パーベイシブ・ソフトウェアは、データ・ジャンクションの取得によって期待される利益あるいはシナジーを実現できない可能性もあります。実際の結果が、予測される記述から大きく異なるような事態をもたらす、その他の危険性および不確実性に関する詳細な情報は、パーベイシブ・ソフトウェアから証券取引委員会 (SEC) に提出された最新の申告書類に示されています。パーベイシブ・ソフトウェアおよびデータ・ジャンクションのいずれも、予測的な記述に対して、このプレス・リリース以降に生じた出来事または状況を反映させる義務を負いません。

追加情報およびその所在

パーベイシブ・ソフトウェアおよびデータ・ジャンクションは、合併に関する共同の委任勧誘状および趣意書を含む登録届出書 (Form S-4) を提出する意向です。これらの提出物にはここで述べられている合併に関する重要な情報が含まれているため、これらの提出物が公開された際には、投資家および証券所有者はそれらを一読されることを強く推奨いたします。投資家および証券所有者は、SEC の Web サイト www.sec.gov において、これらの文書および SEC に提出されたその他の文書を無料で取得することができます (公開された際)。また、投資家および証券所有者は、SEC に提出された文書のコピー (無料) をパーベイシブ・ソフトウェアの投資家担当 (Marian Kelley、電話番号 : 1-512-231-6090) から入手することもできます。

株式会社エージテックについて

1984年4月設立以来、組み込み用データベースソフト Pervasive.SQL を中心に開発者向け製品を輸入、日本語化して販売を行っている。扱っている製品は4つのカテゴリに分けられ、データベース系の主な製品は Pervasive.SQL (旧 Btrieve)、ビジネスインテリジェンス系では Crystal Reports、開発者向け製品系では IP*Works! や List & Label、そして IT プロフェッショナルツール系では Winternals や NetSupport PC-Duo など。2001年7月にパーベイシブ・ソフトウェア株式会社と経営統合し、社内にパーベイシブ・ソフトウェア・ディヴィジョンを設置。2002年12月には最新版の Pervasive.SQL V8 をリリース。

Pervasive、Pervasive Software、Btrieve および Pervasive.SQL は Pervasive Software の商標または登録商標です。

その他の会社名、製品名などは一般に各メーカーの登録商標または商標です。

本件に関する一般からのお問い合わせ先

株式会社エージテック 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町 1-21-1

TEL : 03-3293-5283 FAX : 03-3293-5270

URL : <http://www.agtech.co.jp/> E-Mail : info@agtech.co.jp

報道関係の方々からのお問い合わせ先

株式会社エージテック 担当:堀川

TEL : 03-3293-5300 E-mail : PR@agtech.co.jp